

《旧第四銀行で聴く古楽コンサートシリーズ》その7

バロック・アンサンブルの愉しみ =ドイツとフランス=

ソプラノ 村上雅英 リコーダー、フラウト・トラヴェルソ 国枝俊太郎
チェンバロ 岡田龍之介

2021
8.30(月)

19:00 開演
(18:30 開場)

夏の夜、バロック音楽の時代(17・18世紀)の響きを古楽器の音色が生きる会場=旧第四銀行の建物で。木製のフルート、当時の唱法による歌、そしてチェンバロの響演をお楽しみください。



高田まちかど交流館 (旧第四銀行高田支店)

《会場所在地》新潟県上越市本町3-3-2
会場についての問合せ 025-526-6903

プログラム

テレマン メーデーツィェ・ゾナーテ 第11番 二短調
カンタータ「怒りを収めよ、報復を止めよ」
チェンバロの為のファンタジー 第9番 イ長調

J.S. バッハ アリア「開きなさい、私の心よ」

フィリドール ソナタ 二短調

カンプラ カンタータ「アリオン」

ほか

前売3000円 / 当日3500円 / 学生2000円

*50席限定*全自由席*新型コロナ感染防止対策対応。

当日、会場ではマスク着用、手指の消毒をお願いいたします。

■主催・前売予約・問合せ PAK

TEL.090-3573-8731 (川合)

<https://sites.google.com/view/pak-dai4>

■後援/日本チェンバロ協会

私にとって2年ぶりとなる上越での演奏会、とても楽しみにしています。今回は、日本に初めてバロック古楽歌唱法を紹介し円熟味を増す村上さん、優れたテクニックと誠実かつ非凡な音楽表現を持つ国枝さんと共に。 岡田 龍之介

村上 雅英 MURAKAMI Masae

武蔵野音楽大学声楽科卒業。オランダ王立音楽院古楽器科に留学し古楽声楽を専攻。レベッカ・スチュアート、マリウス・ファン・アルテナ両氏に師事。またイギリスではイアン・パートリッジ氏に師事。ルネッサンスとバロック音楽を専門とする歌手として活動し、J.S. バッハ「マタイ受難曲」やヘンデルの「メサイア」といった多くのオラトリオのソリストをつとめる。また、NHK教育テレビやNHKFM放送の「朝のバロック」「FMリサイタル」等にも出演。一方、声のメカニズムに着目し、独自のメソッドで後進の指導にも当たっている。



国枝 俊太郎 KUNIEDA Shuntarou

リコーダーを安井敬、フラウト・トラヴェルソを故中村忠の各氏に師事。これまで東京リコーダー・オーケストラのメンバーとしてNHK教育テレビ「ふえはうたう」「トゥットアンサンブル」に出演、CD録音にも参加する。2018年開催の「東京・春・音楽祭」において、ロシアの世界的ピアニスト、コンスタンチン・リフシツと共演する。現在はバロック室内楽を中心に、古楽器オーケストラによる数々の演奏会に出演するなど、幅広く活動している。バロックアンサンブル「クラングレーデ」「ムジカ・レセルヴァータ」メンバー。

岡田 龍之介 OKADA Ryuunosuke

慶應義塾大学、東京藝術大学卒業、藝大大学院修了。チェンバロを有田千代子、渡邊順生各氏に師事。全国各地で演奏活動を行ない、S. クイケン、D. ブリュッヘンほか国内外の優れたバロック奏者との共演を通じアンサンブル経験を深め、その表現力は高く評価されている。最近「ザロモン室内管弦楽団」や「Ars Nova新潟」の指揮者を務める等、指揮活動にも力を注ぐ。第13・23回山梨古楽コンクール審査員。ソロCD「銀色の響き」(レコード芸術 準特選盤)をはじめ10枚のCDをリリース。2017年まで都留音楽祭講師。現在 洗足学園音楽大学講師。古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」主宰。FM 鴻巣「クラシックの散歩道」パーソナリティ。日本チェンバロ協会会長。



CD・聖歌 17世紀イタリアの器楽/ジーン・キム、レジーナ・アルパネス、山廣美芽、岡田龍之介(アントレ)
・サルヴェレジーナ~歌とオルガンによる祈り/村上雅英、小林英之 (ALM Records) ほか

★新型コロナ感染拡大の場合には、やむなく開催中止とする可能性もあります。この件のお問合せは8月20日以降にお願い申し上げます。